

計画の名称	自然と環境にやさしい周防大島町の実現		
計画の期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度 ( 5 年間)	交付対象	周防大島町
計画の目標	周防大島町のきれいな海を守るため、下水道の整備を促進し水質の保全を図る。		
計画の成果目標 (定量的指標)	①下水道全体計画の整備率を95% (H22) から100% (H26) に増加させる。 ②処理場 (汚泥脱水設備) の改築及び増設の実施率を0% (H22) から100% (H26) に増加させる。 ③下水道施設 (処理場) における長寿命化計画策定数を0箇所 (H22年度当初) から1箇所 (H26年度末) に増加させる。		

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 下水道全体計画の整備率 下水道全体計画のうち整備済み面積 (ha) / 下水道全体計画区域面積 (ha)	95%	98%	100%	
② 処理場における改築・増設実施率 改築・増設を実施した処理場数 (箇所) / 改築・増設が必要な処理場数 (箇所)	0%	75%	100%	
③ 処理場に係る長寿命化計画策定数 (全1箇所) 長寿命化計画策定施設数	0箇所	0箇所	1箇所	

事後評価

実施体制、実施時期 事後評価	
実施体制	実施時期
部局内において、事後評価を実施	事業終了後 公表の方法 周防大島町のホームページに掲載
	上段：計画 下段：実績

1. 交付金事業の進捗状況

全体事業費	合計 (A+B+C)	565 330	A	480 301	B	0	C	85 29	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	15.0% 8.8%												
A1 下水道事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考					
												H22	H23	H24	H25	H26						
安下庄処理区																						
A1-1-1	下水道	一般	周防大島町	直接	-	分流	新設	安下庄処理区汚水枝線	10ha	周防大島町						275 234	①					
A1-1-2	下水道	一般	周防大島町	直接	-	水セ	増設	安下庄浄化センター (1,900m3/日)	汚泥脱水設備 (0.183t/日)	周防大島町						20 8	②					
東和片添処理区																						
A1-2-1	下水道	一般	周防大島町	直接	-	水セ	改築	東和片添浄化センター	詳細設計	周防大島町						5 5	②					
A1-2-2	下水道	一般	周防大島町	直接	-	水セ	改築	東和片添浄化センター (1,700m3/日)	汚泥脱水設備 (0.157t/日)	周防大島町						160 54	②					
A1-2-3	下水道	一般	周防大島町	直接	-	水セ	改築	東和片添浄化センター (1,700m3/日)	長寿命化・調査等	周防大島町						20 0	③ 長寿命化					
小計																480 301						
B 関連社会資本整備事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考						
												H22	H23	H24	H25	H26						
小計																	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考				
C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考						
												H22	H23	H24	H25	H26						
C-1-1	下水道	一般	周防大島町	直接	-	新設	安下庄処理区汚水枝線整備	3ha	周防大島町							85 29	①					
小計																29						
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考				
C-1-1	基幹事業(A1-1=1)である汚水枝線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、事業の効率的な整備を図る。																					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	下水道を整備することにより、水質の保全を図ることができ、快適な生活環境を形成することができた。			
II 定量的指標の達成状況	定量的指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	指標① (下水道全体計画の整備率)	100%	99%	効果促進として汚水幹線、枝線整備とこれに接続する枝線整備を一体的に実施することで、効果的な事業執行が実現でき、概ね目標値を達成することができた。
	指標② (処理場における改築・増設実施率)	100%	100%	目標達成
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	指標③ (処理場に係る長寿命化計画策定数)	1箇所	0箇所	事業内容を見直したため、当初事業実施期間内に目標箇所における策定ができなかった。

3. 特記事項(今後の方針等)

今後も引き続き、快適な水環境の実現を目指し、長寿命化及び耐震化計画を策定することで、適切に施設の維持管理をしていく予定である。また、水洗化 (接続) の向上に取り組み、効率的な整備方針を検討し水洗化の向上を目指す。

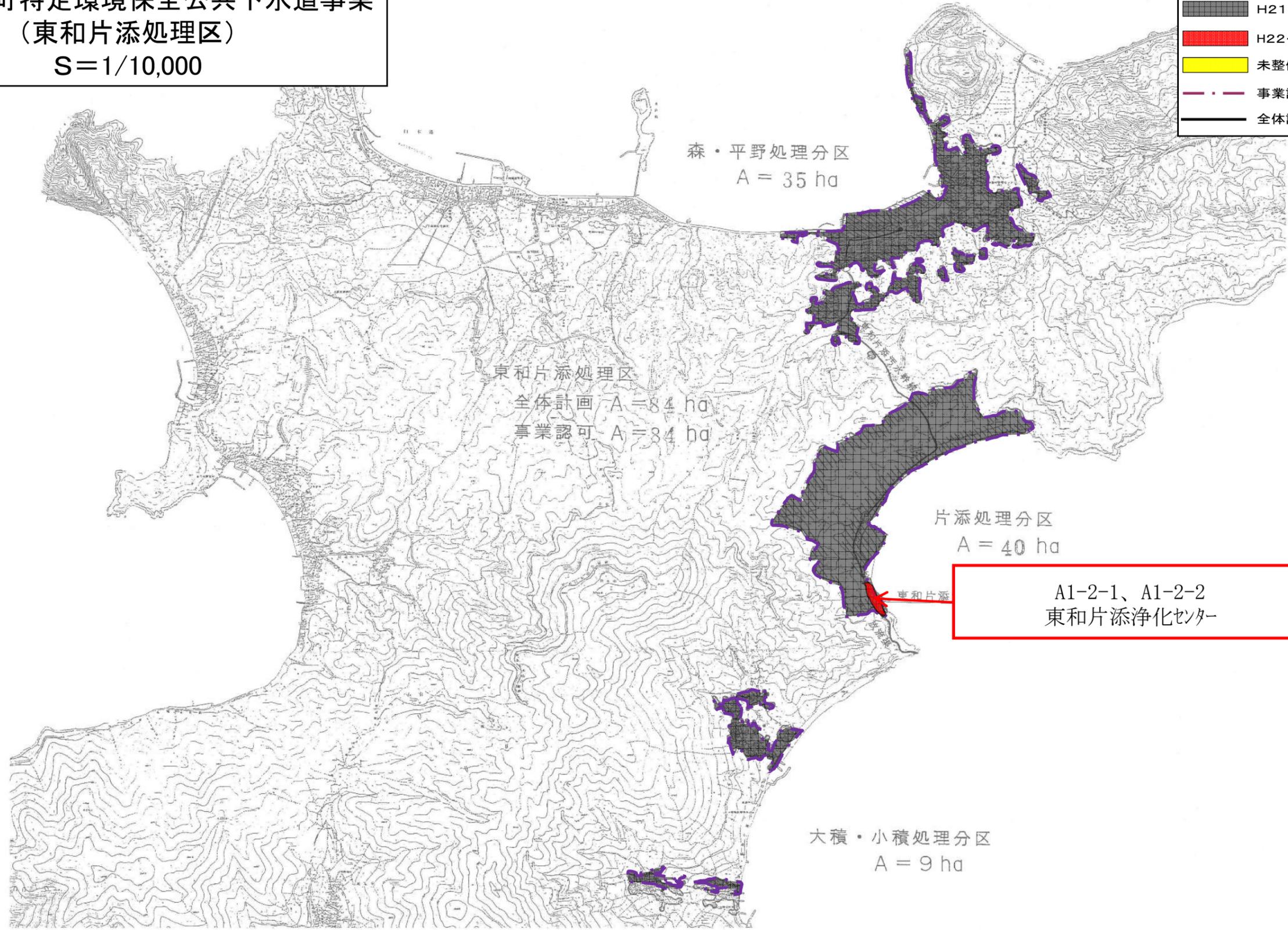
(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	自然と環境にやさしい周防大島町の実現	交付対象	周防大島町
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

周防大島町特定環境保全公共下水道事業  
(東和片添処理区)  
S=1/10,000

凡 例  
特定環境保全公共下水道事業

	H21年度以前施工済み
	H22~H26年度施工箇所
	未整備箇所
	事業計画区域
	全体計画区域



A1-2-1、A1-2-2  
東和片添浄化センター

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

